

高等学校保健体育科採点基準

3枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 (例)		採 点 上 の 注 意	配 点
1	1	A	第1位		各 4 × 5
		B	第2位		
		C	第4位		
		D	第3位		
		E	第4位		
	理由	<p>A, B及びDの3名は、最後に越えた高さが同じである。この3名のうち、最後に越えた高さで試技数が最も多かったDが第3位となる。</p> <p>AとBは、最後に越えた高さでの試技数が同じため、最後に越えた高さを含む、それまでのすべての試技のうち、無効試技数が少なかったAが第1位となり、Bが第2位となる。</p> <p>CとEは、最後に越えた高さ及び最後に越えた高さでの試技数が同じである。さらに、最後に越えた高さを含む、それまでのすべての試技のうち、無効試技数が同じであり、第1位に関する場合ではないため、2名とも同順位の第4位となる。</p>		内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	10
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・跳躍した後、バーが競技者の跳躍中の動作によってバー止にとどまらなかった時。</li> <li>・バーを越える前に、バーの助走路側の垂直面より着地場所側の、またはその垂直面を支柱から左右に延長した着地場所側の、地面あるいは着地場所に身体のかなる部分でも触れた時。</li> <li>・助走して跳躍せずにバーまたは支柱の垂直部分に接触した場合。</li> </ul>		2つ書かれていればよい。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 4 × 2	
3	(1)	背面跳び			4
	(2)	リズムカルな助走を行い、踏み切り前の3～5歩で弧を描くように走り、体を内側に倒す姿勢をとるようにすること。		内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	8
2	1	(ア)	計画的		各 4 × 2
		(イ)	豊かなスポーツライフ		
2	<p>健康・安全について総合的に理解することを通して、生徒が現在及び将来の生活において、健康・安全の課題に直面した場合に、科学的な思考と正しい判断に基づく意志決定や行動選択を行う力を育成すること。</p>		内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	10	

高等学校保健体育科採点基準

3枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 (例)	採 点 上 の 注 意	配 点	
3	1	(1) 大腰		4	16
		(2) 持っている受の襟や袖を放し、自ら前受け身を取るよう に指導する。	内容を正しくとらえていれば、表現は異な っていてもよい。	6	
	2	勝敗にかかわらず対戦相手に敬意を払うこと、自 分で自分を律する克己の心を表すものとして礼儀を 守るという考え方があること。	内容を正しくとらえていれば、表現は異な っていてもよい。	6	
4	1	医療用医薬品は、医師・歯科医師が処方する医薬品 であるのに対し、一般用医薬品は、自分の判断で購入 し、使用する医薬品である。	内容を正しくとらえていれば、表現は異な っていてもよい。	8	17
	2	医薬品の効果が薄れたり、逆に効果が現れすぎて危 険なことや、予測できない副作用が起こることがあ る。	内容を正しくとらえていれば、表現は異な っていてもよい。	9	
5	1	クロールの「伸びのある動作」とは、キックにより 水平姿勢を保つことで水の抵抗を小さくし、さらに、 キックを推進力にも生かしながら、1回のプルで大き く前進する動作のことであるのに対し、平泳ぎの「伸 びのある動作」とは、キック時にグライド姿勢を保つ ことで水の抵抗を小さくし、大きく前進する動作のこ とである。	内容を正しくとらえていれば、表現は異な っていてもよい。	8	20
	2	ア	順序は問わない。	各 4 × 3	
		エ			
オ					

高等学校保健体育科採点基準

3枚のうち3

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 (例)	採 点 上 の 注 意	配 点		
6	1	<p>マットの下に踏切板を入れて、浅い角度の傾斜をつくり、傾斜の下に足が着くように前転させ、傾斜を手で押して立ち上がらせる。</p> <p>補助者をつけ、補助者は実施者の腰を持ち上げるように補助し、開脚立ちをさせる。</p> <p>背支持倒立から腰を開いて足を前上方に投げ出して開脚立ちをさせる。</p>	<p>順序は問わない。 問いを正しくとらえていれば、内容は異なっていてよい。</p>	各5×3	
	2	<p>接転技である、開脚前転と伸膝前転では、体をマットに順々に接触させて回転するための動き方、回転力を高めるための動き方が求められる。</p> <p>開脚前転は、膝を伸ばしたまま開脚で立たなければならぬ。一方、伸膝前転は、膝を伸ばしたまま開脚で立たなければならぬ。</p> <p>開脚で立つということは、開脚では立てない人のための下位教材と位置付けることができる。したがって、大きく開いていた脚を、段階的に閉じていく方向で指導することが大切であるため。</p>	<p>内容を正しくとらえていれば、表現は異なっていてよい。</p>	10	
7	1	(1)	<p>打者が自然に構えたとき（スイングする前）の「みぞおち」（上限）と「膝の皿の底部」（下限）の間の、本塁上の上方空間。</p>	<p>内容を正しくとらえていれば、表現は異なっていてよい。</p>	12
		(2)	(ア), (イ), (ウ)	<p>全部合っているものだけを正答とする。</p>	6
	2	(イ), (ウ), (オ)	<p>全部合っているものだけを正答とする。</p>	6	
	3	中継プレイ	<p>守備は、捕手、遊撃手、中堅手を配置する。走者は2塁に配置する。</p> <p>ノックをする者は、中堅手を越えるフライを打つ。</p> <p>走者は、ボールが落下したことを確認した後、走塁する。遊撃手は、中堅手と捕手とを結ぶ直線上に移動し、中堅手からの送球を捕り、捕手に送球する。</p>	<p>問いを正しくとらえていれば、内容は異なっていてよい。</p>	15
ダブルプレイ		<p>守備は、1塁手、2塁手、遊撃手を配置する。走者は1塁に配置する。</p> <p>ノックをする者は、1塁側に弱いゴロを打つ。</p> <p>1塁手は打球を捕るために前進する。同時に、2塁手は1塁へ、遊撃手は2塁へ移動する。1塁手は、捕球したボールを2塁へ送球する。遊撃手は2塁を踏みながらボールを捕球し直ちに1塁へ送球する。2塁手は1塁を踏みながらボールを捕球する。</p>	<p>問いを正しくとらえていれば、内容は異なっていてよい。</p>	15	